



3月なかば、
ヒキガエルの産卵がはじまっています。

3月12日(土) 作業報告

2011年3月12日(土)

天気: 晴れ



東日本大震災の影響もあり、最初に集まったメンバーは6人だけ(一◇一;)。その後、帰宅難民で朝帰りの高橋さん、京都からなんとかたどり着いた中村伊南沙さんが加わり、各々被災体験を語りながら畦きり作業を行いました。

この日はほかほかした陽気で気温も15度くらい。水路ではおたまじゃくしが泳ぎ、ざるで泥をすくえばオニヤンマのヤゴやヨコエビ、アメリカザリガニも見られました。また、畦や田んぼ内に春の草花がますます増えていて、地震を忘れてしまうくらいのかなどかな気が流れていましたが、時折上空をヘリコプターが横切り、海岸では大津波警報が発令されていました。



写真1) 広町上空を飛ぶヘリ: 広町はいつも通りののどかさでしたが、海岸では大津波警報が出ていました。

写真2) 恐ろしかった地震: この日の話題は地震の話で持ちきりでした。大屋さん、小坂さん、野村さんは広町での作業中に被災したそうで、その時の模様を語ってくれました。私も鶴見の会社から自転車で帰宅しました。

写真3) 畦きり開始: 少人数で畦きりをはじめました。

写真4) 水路をひろげる: 畦きりと同時に水路を広げました。

写真5) ヤマアカガエルのおたまじゃくし: 水路や蓮田跡でヤマアカガエルのおたまじゃくしがたくさん見られます。

写真6) オニヤンマのヤゴ: 野村さんがざるで泥をすくうと、ヤゴやザリガニなど、たくさんの生き物が見つかりました。



夜のひきがえる観察記



メスは茶色っぽく

オスは黒っぽかった
(個体によって違う)

卵は最長10mm

忍者のように泥にかくれ

ゴッゴッゴと鳴く

撮影地: カエル池脇の洞穴

<3.12 参加者→8人=敬称略・五十音順>

大屋進、奥田せい子、小坂泰子、高橋潔、豊田充、中村伊南沙、野村紀子、向田智也